

つなぎあって元気に

六月定例議会でも一般質問！

法律が変わり、日本の教育が大きく変えられようとしています。しかし、この改革は、公教育を、そして、未来を担う子どもたちをまします危機に追い込むものです。現場の願いを何とか伝えなければ・・・緊張しながらもこんな必死の思いで質問に立ちました。



《質問内容》

1 教育への古賀市長の思いは？

予算にはの首長の思いが表れます。教育は最大の未来投資と言われますが、大牟田市の教育予算の比率5.9%は県下で最低レベル！同じく財政状況の厳しい飯塚8.2%、田川6.8%、直方6.1%と比べても…。東京大学大学院教授の佐藤学先生は、自書で「教育を大切にしない社会は犯罪者を増やし、結果大きな財政負担を強いられることになった…」とカリフォルニア州の例を挙げて紹介されています。

2 教職員の健康障害（病休や休職）と超過勤務の実態は？

子どもにとって最大の教育環境である教師が疲れ切っている状況が、40年ぶりの文科省の調査で明らかになりました。特に心的疾患による病休・休職が増えています。本市でも同じような状況にあるという答弁を受け、現場の超勤実態を把握し、解消に向け一層の努力を図るよう求めました。

十分な授業準備や一人ひとりの子どもにしっかりと向き合うための時間や心の余裕のなさ、こんな状況が先生方を苦しめていることを訴えました。

3 国が進める教育改革、現場の声は届いた？

慎重な議論をという多くの声を無視して、教育基本法に続き関連3法案も強行採決で 変えられました。新聞報道によると、現場の教師や教育学者ばかりでなく、行政側の地方教育長や校長先生からも「愛国心が強制され、権力に従順な人づくりが目指されようとしている、学校に市場原理を持ち込むもの、現場の問題を解決するものではない、協同性を難しくしていく、今欲しいのは人手…」等様々な異論や心配の声が挙がっていました。そこで、大牟田市では現場の声を聞く機会や公聴会などで宮田教育長の意見を届ける機会があったのか尋ねました。公聴会は九州で数カ所、代表で行われ、そんな機会はなかったという主旨の答弁でした。3,4については、時間がなく再質問はできませんでしたが、現場の悩みとは関係なく法改正が進められている実態を訴えることができました。

4 男女共同参画推進条例

が昨年本市でも施行されましたが、学校ではまだまだ取り組みが進んでいません。混合名簿などへの考えを聞きました。不必要な区別は見直すべき、教育に携わるものの責務を自覚し、学校での推進を一層図っていくといった主旨の答弁でした。

市議会の全部の質問を詳しく見ることができます（8～9月頃公表されます）
各会派の議員さんがどんな質問をしているかも、わかります。

大牟田市ホームページで

大牟田市公式ホームページ 市議会 議会議事録検索システム 会議録検索
議事録の閲覧で 情報公開センターで閲覧できます。（市民生活課右側）



光子の部屋

7月

活動報告

委員会・現地視察

- ・教育厚生委員会（5月29, 31日）
フレンズピア大牟田、生涯学習センター
延命プール、養護老人ホーム吉野園、
つどいの広場、北部地域包括センター
サンアピリティー大牟田、天領保育所など
施設の役割を学習したり、工事の進み具合に
ついて説明を受けたりしました。

母と女性教職員の会、学習会 （6月9日、中央公民館）

先輩の江崎アツ子先生と一緒に、母女の歴史、学校の
現状、会の今日的な課題について話しました。

6月定例市議会（6月15日～27日） 一般質問（22日）

県政・市政報告会 （7月8日、吉野地区公民館）



石橋県議が県議
会報告、会派代表の
寺島市議が市議会の
全体報告、松尾市議
が代表質問報告、私
は、初めて行った一
般質問報告などを行
いました。忙しい学期
末ですが現職も多数
おいでいただきました。

教育・NOW

学力世界一 フィンランド

2003年に実施されたOECDによるPISA(学習到達度調査)の
調査結果で、日本では学力低下が俄に騒がれました。

その時、学力世界一として注目されたのがフィンランドです。
フィンランドでは、すべての教育費は無償、少人数学級(20人
前後)で「学び合い」による授業が中心、遅進児には徹底した
対応が行われ、学力格差が小さいこと、学習意欲が高いこと
も特徴です。また、社会保障が充実し、女性の社会参加が進ん
だ、経済競争力も高い福祉国家です。

参考図書

- 競争しなくても世界一(フィンランドの教育)
福田誠治著 アドバンテージサーバー
- 働き方で地方を変える(フィンランド福祉国家の取り組み)
山田真知子著 公人の友社

- ・港湾交通委員会（6月12日）
都市計画道路長溝線、九州新幹線、
有明沿岸道路、三池港



大牟田中央生活学校 （6月26日、中央公民館）

新人議員2名呼んでいただき、抱
負を述べ、交流しました。

地域でのボランティア活動や環境
問題等の学習に熱心取り組んでいら
っしゃることを知り感心しました。

教育厚生委員会（7月11日）

教育委員会から説明されて「いじ
め対策」としての「生活アンケート」の
データベース化という膨大な事務作
業は、教師が子どもと向き合う時間を
ますます減らし、かえって逆効果では
ないかという意見を出しました。教育
委員会の意向としては研究にこのこ
と、今後の経過を見守ります。

お願い

皆様の自由な声をお寄せ
下さい。(後援会事務所か自宅
まで)後援会ニュースで紹介
させていただく場合もあ
りますので、お名前と連絡先もよ
ろしくお願い致します。

支持者の方、近所の方に後
援会ニュースをお届けくださ
い。支部にあります。

